

直感的に操作が可能なToDoリストの Webデザイン

2026年8月28日

神奈川大学 工学部 経営工学科

人間工学研究室

矢野 光将

研究背景

Webサイトのサービスが多く使われている中，多機能化が進む一方で画面の複雑化が課題となっている．そのためUIの視点を重要視し，多機能かつシンプルなデザイン設計が求められている．



目的： UIデザインを活用したTODOリストWebサイトのデザインを作成し，直感的に操作が可能な画面設計を行う．

方法： MIROを用いてWebサイトデザインの作成を行い，被験者にプロトコル分析を実施，評価後改善案を模索する．

リスト追加画面





~






+写真を追加

通知ON/OFF




編集画面

ホーム

削除

今日やること |

20240513

⌵

 ~

20240513

⌵

写真

通知ON/OFF

+

写真を追加・編集

設定

パフォーマンス

変更を破棄

変更する

日付毎確認画面

◀ ◁ ▷ ▶

@bestcalendar.jp

2024年5月カレンダー（令和6年）

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	1	2	3 憲法記念日	4 みどりの日
5 こどもの日	6 振替休日	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	1

戻る 決定

絞り込み画面



- ☒ 完了
- ☐ 未完了

- ☐ 今日まで
- ☐ 今週まで
- ☒ 今月まで

- ☒ 通知あり
- ☒ 通知なし

色で選択→



クリア

決定

詳細設定画面



詳細設定

絞り込み

通知設定

並び替え

最近消した項目

文字

ヘルプ・ガイド

最近消したリスト



最近消した項目

アルバイト

ランニング

レポート課題

アルバイト

▼ もっと見る

履歴画面



履歴

3時間前

☒ アルバイト
May 13th

1 日前

☐ ランニング
May 12th

2 日前

☒ レポート課題
May 11th

アルバイト

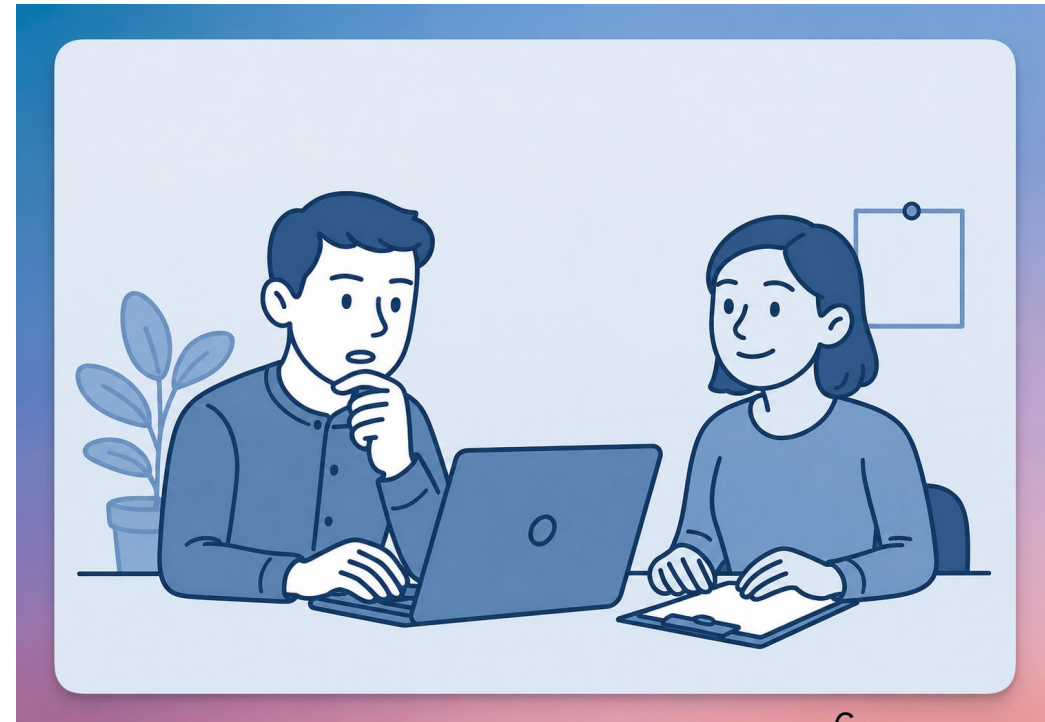
▼ もっと見る

評価方法：プロトコル分析

・・・被験者にタスクを与え，システムを操作しつつ感じたことを発話してもらい，ユーザビリティの問題点を明らかにする分析方法。

手順

- ①：被験者にはタスクを与え，達成に向けてシステムの操作を行ってもらう。
- ②：①を実施して見て感じたことを話してもらい，その際の行動を記録する。
- ③：記録を分析し，課題を抽出。
問題点に重さをつけ，重要度を区分する。



プロトコル分析

タスク内容

- ・ タスク完了のチェックを入れる
- ・ タスクの絞り込み（タスクの種類）
- ・ タスクの絞り込み（日付毎）
- ・ 新規タスクの追加
- ・ 既存タスクの内容変更
- ・ 履歴からタスクをリストに追加



6つのタスクを学生5名に実施

分析から判明した課題

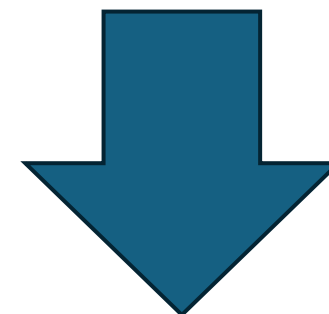
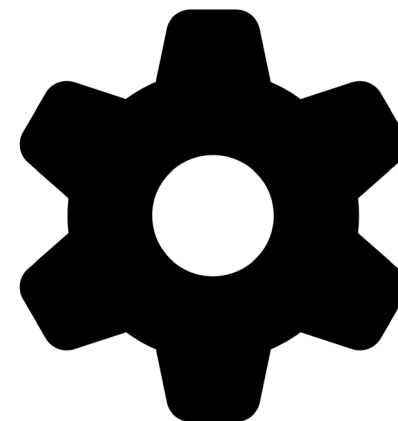
- ・メニュー画面移行へのアイコンの変更
- ・絞り込みのアイコン変更
- ・メイン画面下の配置改善
- ・タスク完了のチェックボックスの有無

不満の声

様々な詳細設定を開くアイコンを歯車から三本線にすべき

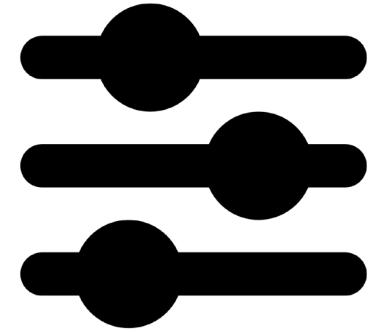
改善

設定というイメージよりその他のメニュー画面へ移動するためのアイコンという認識へ変更



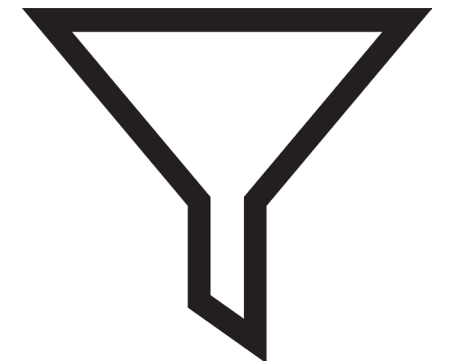
不満の声

絞り込みのアイコンが分かりにくい



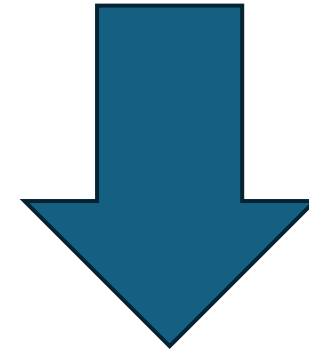
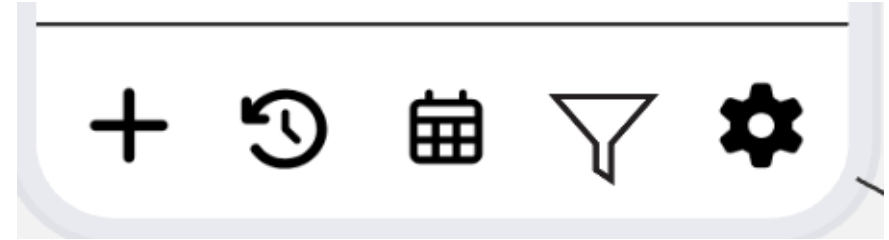
改善

絞り込みのアイコンをExcelなどでも使われているアイコンに変更



不満の声

追加の＋アイコンの位置が中央に来るべき



改善

最も利用されるであろうリスト追加のアイコンを目につきやすい中央に移動.

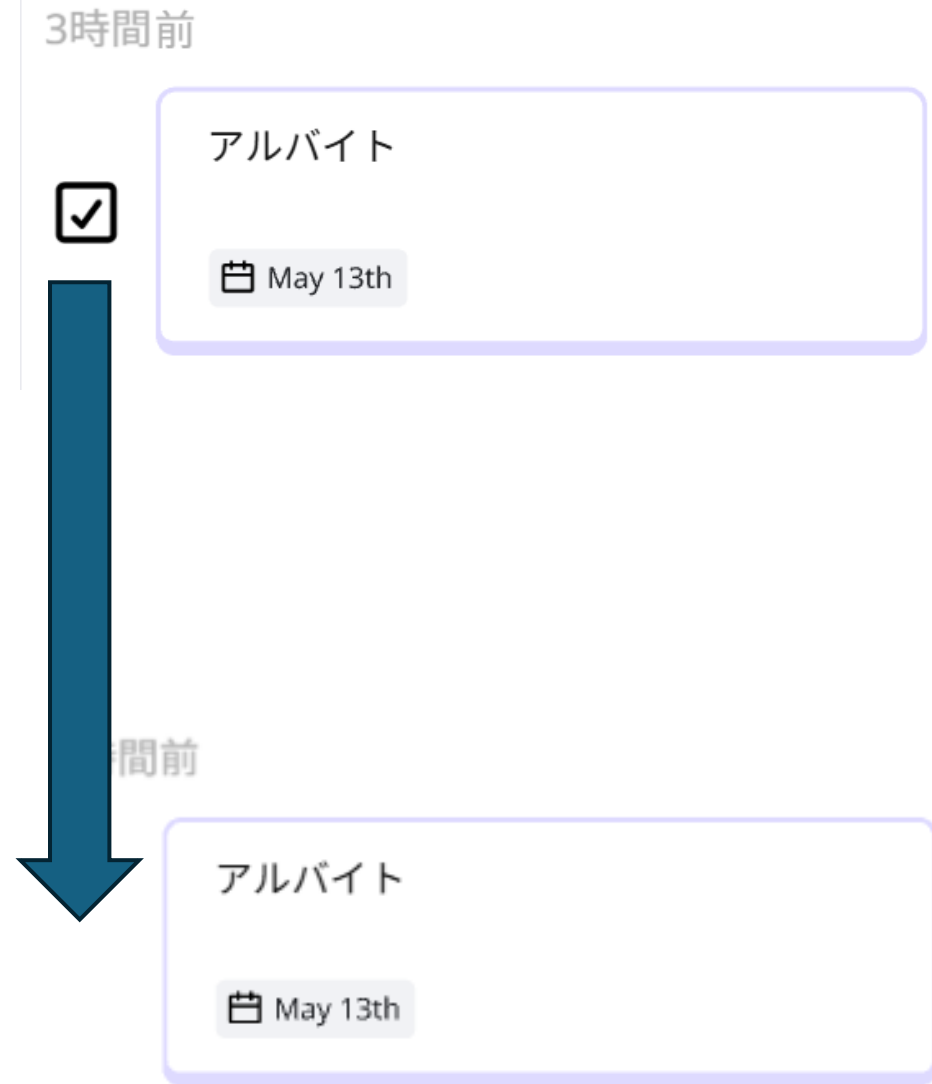


不満の声

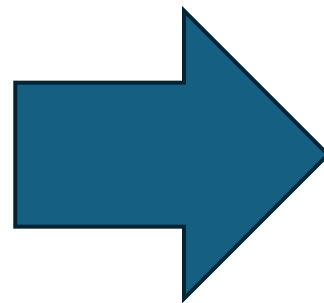
チェックが何を指しているのかわかりにくい

改善

直感的な思考を妨げる要素は排除



潜在的不満



ToDoリスト

20240513



今日のやること



レポート課題

📅 May 13th — May 20th



アルバイト

📅 May 20th



ToDoリスト

20240513



今日のやること



レポート課題

📅 May 13th — May 20th



アルバイト

📅 May 20th



チェックの有無は
背景色の変化で管理



考察

- ・アイコンの細かいデザインや配置は，利用者の直感的な操作に大きく影響する．
- ・プロトコル分析を行ったことで，設計者では気付きにくい被験者の不満や改善点を具体的に把握でき，指摘された問題だけでなく，潜在的な使いにくさを発見することで，より直感的なUIデザインに繋がる．
- ・デジタルにある程度慣れのある学生だとしても，個人個人で思い描いてるイメージが異なる．

まとめ

- ・ UIデザインを用いたTODOリストのWebデザインを作成し、プロトコル分析を行った結果、アイコンの配置や細かなデザインの違いが使用者の直感的な理解に大きく影響することが分かった.
- ・ 被験者の指摘を改善するのみではなく、潜在的な不満も抽出し、より便利だと思われるようなデザインを思索することが重要.

今後の展望

- ・今回の分析では学生のみにも協力してもらったため、幅広い年代の方からの意見をもらうことで、より汎用性の高いUIデザイン設計を行う。
- ・今回はUIを重視しての設計だったが、好きや楽しいなどの感情面（UX）も重要視し、より利用しやすく利用したいと思われるようなデザイン設計を行う。

ご清聴ありがとうございました。